

新設「三和小学校」校歌完成!

来年4月開校の三和小学校の校歌が出来あがりました。とても親しみやすく歌いやすい校歌です。



神石高原町立 三和小学校 校歌

神 びらのりようこ
曲 前田 肇

♪108 明るく、のびやかに

1. そ ら に ひ か っ て て を の ぼ る
な ら ば う に ひ か っ て う た お う よ
よ か ら ね に ひ か っ て み ん な い こ う

お だ だ だ が ひ と り の り よ う こ
あ り け び び び わ た し の も
ほ し む る さ と の も の が た り き こ え る よ

み どり の や ま の こ と こ ろ に
い き て い く ち か ら と ち ゅ う き
れ き し の ま ら の ひ と び と

ひ ら び ら び た か な ま な び や
あ ふ れ て た の し い ま な び や
い つ し ょ に あ る く ま な び や

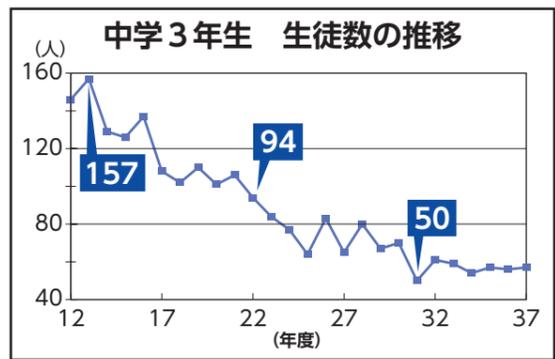
1-3 び ん ぎ で や さ し く た が い の い の ち た い せ つ に

こ こ ろ の わ い つ し ょ ま で も さ ん わ し ょ が つ こ う

11月16日(木)に開催した協議会では、中学生の生徒数の推移を見ながらこれからの中等教育のあり方を検討しました。10〜15年後を見据え、将来像を描く議論。特色ある学校・魅力ある学校の構築、世代間の意見交流の必要性など意見が出されました。

県立油木高校の存続と、町内4つの中学校との連携のあり方を中心にさらに議論を深めていきます。

下の表は、中学3年生の生徒数の推移です。今後、生徒数が激減してきます。この状況をどう見るかが大きな課題です。



中高一貫教育検討協議会開催 第2回

中高一貫教育

「教養のまち—神石高原町」

読書感想文入賞者決定!

町では読書への関心を高め、積極的・自主的に本を読むきっかけづくりとして、8月を「神石高原町読書月間」と定め、読書感想文を募集し、227点の応募をいただきました。

その作品の中から、各部門の最優秀賞・優秀賞を選び、11月28日(日)の図書館まつりで表彰者に教育長から賞状と記念品が贈られました。

入賞者は次のみなさんです。

部門	最優秀賞	優秀賞	特別賞	その他
【小学生の部】	「強い心と勇氣」 井上 京香 (油木小学校3年生)	「おこだでませんようにを読んで」 藤井 智弥 (来見小学校4年生)	「点子ちゃんの本を読んで」 花田 明枝 (三和小学校4年生)	「目の見えない犬 ダン」 古森 温登 (二幸小学校5年生)
【中学校の部】	「セヴァンが教えてくれたこと」 佐伯 彩夏 (神石中学校1年生)	「弱さは強さ」 池田 健峰 (三和中学校1年生)	「明日につづくリズムにのって」 矢迫野乃佳 (神石中学校2年生)	「果てなき道」 角南友佳子 (豊松中学校3年生)
【一般の部】	「十五少年漂流記が教えてくれたもの」 岡田 隆行 (府中市)	「重松日記」を読んで消えた「黒い雨」の疑念 本間 隆雄 (福山市)		

(敬称略)

小学生の部、最優秀賞に輝いた作品を紹介します。

「強い心と勇氣」 油木小学校3年 井上 京香 さん

「さっちゃんまほうの手」というのは、生れた時から右手の指がない女の子の話です。この本を読んでさっちゃんに指がないのかふしぎでした。「お母さんのおなかの中にいる時にけがをしてしまって、指がなくなったんだよ。」とお母さんが話していました。どうしておなかの中でけがをするのかは、全くわからないそうです。生れる前にけがをするなんて、わたしは、とてもかわいそうだと思います。

さっちゃんは、ようち園に入って、いろいろないやな思いをしました。たとえば、ままごとをしている時に、友だちから、「さっちゃんは指がないから、お母さん役はできないよ。」と言われてしまいました。わたしは、みんながじゅん番にお母さん役をすればいいのになあ、と思いました。

他にもあります。友だちとけんかをして、さっちゃんは、ようち園をとび出したのです。それは、友だちに指がないことをからかわれて、なかまはずれにされたからです。なかまはずれにした子は、さっちゃんの家に行って、「なかまはずれにしてごめんね。」とあやまって、チョコをわたしました。わたしは、さっちゃんから

さっちゃんの気持ちをわかってあげればいいのになあ、と思いました。

でも、さっちゃんにとって、うれしいこともありました。それは、さっちゃんに弟が生まれて、お父さんと病院に行った帰り道の時のことです。さっちゃんは、お父さんに、「わたし、お母さんになれるかな。」と聞きました。お父さんは、「すてきなお母さんになれるぞ。」と言いました。さっちゃんはとてもしあわせそうでした。お父さんは、「さちこと手をつないでいる時、手からとてもふしぎな力がやってきて、お父さんの体いっぱいになるんだ。まるで、さちこの手は、まほうの手だね。」と言いました。

さちこは、とてもうれしそうでした。わたしは、お父さんのことは、とてもあたたかいと思いました。このことを聞いて、さっちゃんは、勇氣をもらったんだと思います。だから、ようち園に行けるようになったんだと思います。

わたしは、さっちゃんはずいぶんなと思いました。それは、指がなくてみんなにからかわれても、強い心を持って、ようち園に行くようになったからです。わたしは、さっちゃん、とてもやさしいお母さんになると思います。わたしも、さっちゃんのように、強い心とみんなを大切にすることをもちたいと思いました。

小学生の部、最優秀賞の「おこだでませんようにを読んで」藤井智弥君(来見小)の感想文は、来月号の広報紙へ掲載します。

審査員長からの講評

ひと口に「読書感想文」といっても、何をどう書くべきなのか、絶対的な基準があるわけではない。「感想の範囲も、どのへんまで許されるのか判断が難しい。選ぶ側も採り上げられた作品を全て読んでいくのではなく、客観と主観との間を揺れ動くこととなる。しかし、論より証拠。応募作を一通ずつ読んでいくと、「これこそ読書感想文だ!」と、深くうなずき、居ずまいを正してしまふような作品に、現実に出会うのである。

小学生の部「強い心と勇氣」と題された「さっちゃんまほうの手」

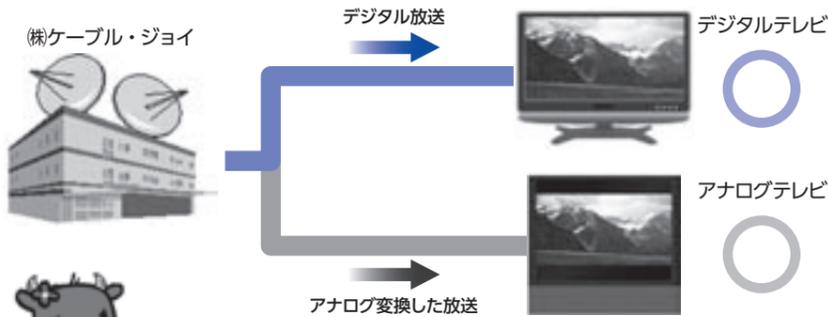
審査委員長(児童文学作家・ふくやま文学館長) 皿海 達哉

(油木小3年・井上京香)と「おこだでませんように」(来見小4年・藤井智弥)の二作は読んでいて涙が出てきた。今こうして思い出しても、心が熱くなってくる。素朴で心のこもったいい文章。内容の紹介と自分自身の感想とが、巧まらずしてバランスよく表現されていた。井上さんと藤井君のやさしさ正義感——ほんとうになんという子たちだろうと、うれしくなった。どうしても甲・乙つけられないので、二作とも最優秀にさせていただきます。

なお、全体の優秀作品集・総評を、町ホームページに掲載しています。

神石高原かがやきネット

デジタル放送をアナログ放送に変換(デジアナ変換)



デジアナ変換のメリット

今お持ちのアナログテレビで平成27年3月末までテレビ放送をご覧いただけます。

注：機能上の制約
一般的にデジアナ変換による放送は、地上デジタル放送と比較して、「データ放送を受信できない」等の機能上の制約があります。

デジアナ変換は、(株)ケーブル・ジョイで地上デジタル放送をアナログ放送に変換して再送信するものです。

お問い合わせ先 情報プロジェクトチーム ☎0847-89-3352(役場本庁)
株式会社ケーブル・ジョイ ☎0847-45-0557(府中)
同上 神石高原事務所 ☎0847-89-0012(油木)

ホームページ <http://www.ccjnet.ne.jp/~kagayaki/>